

## 熊本 SJCD 例会 抄録

演題：左上 7 の一歯残存すれ違い咬合における咬合再構成

演者名：町田宗一郎

日付：2015 年 1 月 27 日

### Key words

1. 左上 7 抜歯の有無
2. P.D の設計
3. 歯根膜負担と粘膜負担の調和

超高齢化社会を迎えた現在、80 歳を超えてのインプラント治療も珍しい事ではない。全身的既往や時間の制約を受けながらの治療になることも多いので、極力侵襲を少なく、短期間で終了する事も重要と思われる。

初診時、81 歳の女性で「短期間でよく咬めて、見た目もよく」という主訴のもと、上顎は義歯、下顎は臼歯部抜歯即時インプラントにより、咬合再構成を行った症例である。

補綴物 set 後 3 年、P.D の設計、床の形態、顎堤の変化など反省点も含め考察していきたい。

諸先生方の御意見、御指導よろしく申し上げます。